

2024
Vol.33

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

病院長挨拶	2
九大別府病院市民公開講座 (5/19 開催)	3
紹介元医療機関のご紹介	4
新任医師の紹介	5
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



病院長挨拶

九州大学病院別府病院長

三 森 功 士

みもり こうし

九州大学病院別府病院 病院長を拝命しております三森功士でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

弊院は昭和6年より九州帝国大学温泉治療学研究所の診療科として発足して以来、最新の知識/技術/機器を擁する九州大学本院のクオリティを別府市にて展開する、難治性疾患に立ち向かう最後の砦としての大学病院の役割を自負してまいりました。その一方で、開院以来ずっと地域の先生方にお支えいただいて成り立っている医療機関でございます。先生方のお困りの折にこそお役に立てる病院でありたいと考えていますので、引き続き、変わらぬご愛顧とご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、弊院は令和6年3月1日に新病院を開院し、4月1日からは、長らく診療を取りやめておりました「婦人科」を再開いたしました。また、同じく4月1日より、内科の診療領域に「消化器内科」を加え、食道・胃・十二指腸・大腸をはじめとする消化器疾患の検査・治療やポリープや早期癌の内視鏡的治療を行っています。これにより、内科(リウマチ・感染症内科、循環器内科、腫瘍内科、消化器内科)、整形外科、婦人科、放射線科(画像診断、放射線治療)、麻酔科、リハビリテーション科の7科で診療を行っています。

いずれの診療科におきましても難治性あるいはQOLの著明な低下が問題となる疾患を治療対象としています。このような苦しみをもつ患者さん・ご家族に寄り添い、少しでも笑顔を取り戻すことができるように誠心誠意一生懸命頑張りたいと思います。「もし自分あるいは自分の家族が病気になったら、かかりたい病院」を合い言葉に職員一同、一丸となって頑張りますので、みなさまにおかれましては、厳しく見守りいただきながら、どうか温かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度
第1回

九州大学病院別府病院 市民公開講座

テーマ 九大別府病院における治療の最前線

九州大学病院別府病院(以下「九大別府病院」という。)では、令和6年3月1日に再開発事業の一環として新病院を開院し、4月1日には、長らく休止しておりました婦人科を再開しており、より一層、地域医療に貢献できる病院としての機能強化を図っております。

この度、新たにスタートを切った九大別府病院の診療内容を広く市民に公開し、もって九大別府病院に対する理解と信頼を得るため、令和6年5月19日(日)に令和6年度第1回市民公開講座を開催いたしました。

今回の市民公開講座のテーマは「九大別府病院における治療の最前線」と題し、座長として、九大別府病院病院長・外科診療科長の三森 功士教授が務め、3つのテーマで開催されました。参加者は、定員40名に対し、申し込み希望が殺到するなど、市民の皆様非常に高い関心をもっていただけたものとなりました。

まず、最初の講演テーマは、「みなさまと共に歩む婦人科診療」と題し、婦人科診療科長の園田 顕三准教授が講演を行いました。講演では、九大別府病院における婦人科の歴史や診療終了から再開までの経緯、今後の婦人科の診療内容について講演がありました。婦人科では、がん治療を中心に、女性ヘルスケアも取り入れた診療を行っていくこと、具体的な診察、検査としては、婦人科診察、細胞診・組織診、経腹・経腔超音波検査、採血検査(含：腫瘍マーカー)、画像診断：胸部レントゲン、CT検査、MRI検査等を行うことについて説明がありました。

次に、「大腸内視鏡で大腸ポリプ/大腸癌の早期発見と治療」と題し、内科の藤岡 審助教が講演を行いました。講演では、日本人における大腸がんの発生率や死亡率のデータが示され、大腸がん検診の重要性について分かりやすく説明されました。さらに、大腸がんの早期発見に大腸内視鏡検査が有効であることが説明されました。内視鏡治療についても画像や動画を用いて詳細に解説され、粘膜内がんであれば内視鏡治療で根治が期待できることが示されました。

最後に「放射線を使ったがん退治」と題し、放射線科診療科長の平川 雅和教授が講演を行いました。講演では、放射線治療に関する安全性や様々ながんに対する放射線治療の有効性、最新の放射線治療装置や検査装置を使用した治療や検査の具体例について、参加者に分かりやすく説明がおこなわれました。また、九大別府病院では、最新のMRI装置や放射線治療装置を備えており、これら最新の機器により画像診断でがんの早期発見・早期治療へ貢献ができ、高精度放射線治療により、治療効果が高く、副作用が少なく、患者さんのニーズに合った低侵襲ながん治療の提供が可能となることについて説明がありました。

質疑応答では、たくさんの質問が行われ、大いに盛り上がりました。最後に座長の三森別府病院長から、参加者への感謝と今後も市民公開講座を定期的に実施する旨の挨拶が行われ、盛大に幕を閉じることができました。





あおい産婦人科



本多和夫院長

日頃から、大変お世話になっております。

医療法人あおい産婦人科理事長・院長の本多和夫です。

当院は、2004年6月に開院し、今年で20周年を迎えることとなりました。開業の場所は変わりましたが、有床診療所の産婦人科としては、私が三代目になります。一代目は、現在、大分交通別府北浜バス乗り場になっている場所の裏手にあった「田中医院」(祖父)。二代目は、照波園町で、黒木記念病院横にあった「今村医院」(実父)。そして、三代目が私です。祖父、父は共に九州大学卒業でした。本院を開業する前、約2年間で今村医院副院長として勤めましたが、その頃より九州大学病院別府病院(当時は九州大学生体防御医学研究所附属病院)にはお世話になっており、帝王切開の助手に来ていただいたこともありました。

当初、8床からスタートした当院でしたが、開院して1年程経過したところで、九州大学病院産婦人科が休止となり、その後、当院は病床を増築し、現在まで14床で診療を行っています。そんな中、気付けば、別府市内の有床診療所は当院の1軒だけとなり、社会的少子化の波は押し寄せてはいるものの、周産

期医療に対する責任がますます大きくなってきており、お一人お一人の出産に真摯に向き合っています。例えば、産前産後の心身の不調を軽減するために助産師と調香師が特別に調香した天然アロマを使い、心の安定や妊娠線の軽減、産後うつ予防などに積極的に取り組んでいます。産後のお祝いには、ANAインターコンチネンタル別府でのお祝いランチチケットのプレゼントなどを行って、育児に頑張っていただけるように応援しています。

一方、婦人科疾患に関する当院の患者数の推移をみると、2015年頃より年間の患者数が、のべ3,000人を超え、2019年には4,000人、2021年以降は5,000人を超えるようになり、今後も女性のためのかかりつけ医として通いやすいクリニック運営を行っていきたいと考えております。

この度、九州大学病院別府病院に婦人科が再開される運びとなり、大変、嬉しくありがたく思っています。再開後、既にご紹介をさせていただいておりますが、しっかりとご対応していただき、安心しております。今後とも連携のほど、よろしくお願いいたします。

◆DATA

住 所：大分県別府市石垣東8丁目2番31号 診療科目：産科、婦人科
電 話：0977-25-0888

資 格：医学博士

◆アクセスMAP



日本産科婦人科学会産婦人科専門医

J-MELS日本母体救命システムベーシックインストラクター

新生児蘇生法専門コース認定医

母体保護法指定医

内 科



藤岡 審 (ふじおか しん)

2024年4月より内科に赴任いたしました藤岡審と申します。2006年に初期臨床研修を終了して以降、特に食道や胃、小腸、大腸などの消化管疾患を中心に診療して参りました。消化管は悪性腫瘍の発生頻度が高い臓器であり、従来より日本人は欧米と比較して胃がんの罹患率が高いことが知られています。さらに、近年は大腸がんが増加し続けており、発生部位別のがん死亡数は男性では第2位、女性では第1位となっています。消化管がんの早期発見には内視鏡検査が必須であり、早期がん(粘膜内がん)は内視鏡治療が可能です。丁寧な診療と精度の高い内視鏡検査で皆さまのお役に立てるよう努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



甲木 雅人 (かつき まさと)

2024年4月より循環器内科に赴任いたしました甲木雅人と申します。主に心不全を専門に診療しています。動悸や息切れ、足のむくみなどでお困りの方、心臓の精査を希望される方がおられましたらご来院ください。皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。よろしくお願い申し上げます。



押領司 大助 (おうりょうじ だいすけ)

2024年4月よりリウマチ感染症内科に着任いたしました押領司大助と申します。山口大学医学部を卒業後、九州大学第一内科に入局し、九州各地の病院で研鑽を積みました。九州大学大学院で学位を取得し、2015年から3年半当院で勤務しました。その後カナダのPrincess Margaret Cancer Centreで約3年半の研究生生活を送り、この度当院に帰って参りました。

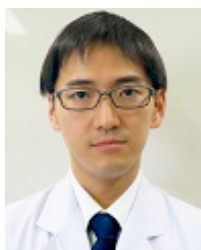
免疫・膠原病領域を中心に診療と研究に従事してまいりました。これまでの経験を活かしつつ、患者様に寄り添った医療を提供できるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。



是石 咲耶 (これいし さくや)

2024年4月より内科に赴任しました是石咲耶と申します。出身は大分県です。2015年に九州大学を卒業後、県立宮崎病院にて初期研修を行った後、腫瘍内科を志すようになりました。九州がんセンター、九州医療センターに勤務し腫瘍内科医としての診療の研鑽を積み、大学院では胃癌についての研究活動やがんゲノム医療・個別化医療に携わってまいりました。この度、ゆかりある別府の地で勤務できることを大変嬉しく思います。

がん薬物療法専門医として、がんそのものだけでなく、がん患者さんの苦痛・課題に寄り添う診療を心がけております。微力ながら皆様のお役に立てるよう精進いたしますので何卒よろしくお願いいたします。



小熊 俊輝 (おぐま としき)

2024年4月より九州大学病院別府病院内科に赴任いたしました、小熊俊輝と申します。2018年に九州大学医学部を卒業後、しばらくは大学院の解剖学教室にて、細胞や組織のかたちについての理論研究をしておりました。温泉が多く、自然豊かな別府の街で、腫瘍内科医として診療に携わることができました。

がんの薬物療法は日々進歩しており、治療に伴う副作用を和らげるケアも充実してきています。その発展に喜びを感じると共に、がん患者さんのためにそれをいち早く学び取り、診療に活かしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

外 科



大津 甫（おおつ はじめ）

2024年4月より外科に赴任いたしました大津甫と申します。消化器がんの治療を専門におこなっております。2018年から2021年までの3年間当院で勤務したのち、2021年4月より3年間、アメリカ・オハイオ州にありますオハイオ州立大学へ留学し、この度帰ってまいりました。久しぶりの別府病院ですが、完成した新病院はとても働きやすく、綺麗な景色・最新の設備を患者さんからも喜んでいただけている様です。私もこれまでの経験で学んだ最新の知識を活かし、最適な治療をご提供することで皆様のお役に立てるよう、精進してまいります。これから何卒よろしくお願いいたします。



渋谷 祥平（しぶた しょうへい）

私は、大分県立大分上野丘高校を卒業後、2017年に久留米大学医学部を卒業しました。初期研修修了後は、九州大学消化器・総合外科に2019年に入局し、外科医としての研鑽を積んで参りました。2022年からは大学院へ進学し、当院外科の三森功士教授の下で、乳がんやがん遺伝子に関する研究に従事しておりました。この度2024年7月より乳腺疾患を中心に診療にも携わることとなりました。患者さんが安心して治療を受けていただけますよう、「丁寧な説明」「安全な手術」「他職種との連携」を心がけて取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



大淵 昂（おおふち たかし）

2024年8月1日に医員として勤務しております大淵昂と申します。熊本大学消化器外科から九州大学病院別府病院外科に配属となりました。三森教授、岩槻教授のご高配で大学院生として基礎研究を行いつつ、医員として臨床業務に携わっております。専門は消化器全般の外科・内視鏡を専門とし、外科専門医、消化器外科専門医、消化器病専門医、がん治療認定医、消化器内視鏡専門医の資格を取得しております。患者様第一の医療を提供できるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

整形外科



貴島 賢（きじま けん）

2024年4月より九州大学病院別府病院整形外科に赴任いたしました貴島賢と申します。これまで、様々な医療機関で整形外科全般の臨床経験を積み、現在、脊椎外科を専門としております。また、海外留学を通じて、最新の治療技術について学ぶ機会にも恵まれ、知識と技術の向上に努めてまいりました。これからは、これまでの学びと経験を活かし、患者様一人ひとりに寄り添いながら、安心して治療を受けていただけるよう、心がけてまいります。地域の皆様の健康を支え、より良い生活をサポートできるよう、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



中川 雄介（なかがわ ゆうすけ）

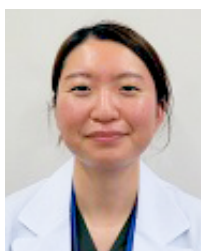
2024年4月1日より九州大学病院別府病院に赴任いたしました中川雄介と申します。九州大学整形外科医局に所属しております。昨年度は福岡県の病院で勤務しており、主に外傷、人工関節手術に携わっておりました。当院当科は脊椎に特化しており、これまで触れる機会がなかった脊椎漬けの日々がとても新鮮に感じられます。特に脊椎は診断学の要素も強く、丁寧な診察と根気強さが求められます。大変ではありますが適切な見立てで手術が成功した後の患者さんの元気になった姿は整形外科で良かったなと実感できる瞬間でもあります。これからも患者さんの笑顔を原動力に日々精進して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

婦人科



島田 直未（しまだ なおみ）

2024年4月より婦人科に赴任しました島田直未と申します。大学院卒業後の臨床復帰で、多くの方々にお力添え頂きながら診療にあたらせて頂いております。本年度は19年ぶりの婦人科の立ち上げで、婦人科一般診療、悪性腫瘍や女性のヘルスケアを中心に診療させて頂いており、全ての患者様が安心して医療を受けられる診療科になるよう努めてまいります。別府での勤務は初めてですが、綺麗な海や山が望める場所が多く、病院からも四国まで見渡せる景色が広がっています。微力ではございますが、少しでも患者様のお役に立てるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



瓜生 泰恵（うりう やすえ）

2024年4月より婦人科に赴任しました瓜生泰恵と申します。2019年に九州大学婦人科学産科学教室に入局しました。この度、歴史ある九州大学病院別府病院にて婦人科が再開し、婦人科診療に従事するにあたり、地域の皆様や他職種の方々に支えていただき、感謝申し上げます。大分県での勤務は初めてです。温和人柄や雄大な自然に感銘を受け、感化されております。地域の皆様が気軽に婦人科を受診でき、患者様に寄り添った診療を提供し、少しでも貢献できるよう日々精進して参ります。よろしくお願い申し上げます。



中村 恭子（なかむら きょうこ）

はじめまして。2024年4月より婦人科に赴任しました中村恭子と申します。福岡大学を卒業後、鶴見病院で初期臨床研修医を行い、別府医療センター産婦人科で勤務してきました。3年ぶりに別府に戻ってきましたが駅前に新しいお店やホテルが建っていて雰囲気がだいぶかわっていて驚きました。婦人科患者さんのご紹介が増えてきており本当に感謝しております。何かありましたらいつでも気軽にご紹介ください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



九州大学病院別府病院 外来診療案内

2024年7月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ感染症内科 (新患予約制)	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 押領司 大 助 團 塚 裕 子	病 棟 回 診 日	三 苫 弘 喜 押領司 大 助 團 塚 裕 子
	腫 瘍 内 科 (新患予約制)	是 石 咲 耶	是 石 咲 耶			是 石 咲 耶 小 熊 俊 輝
	循 環 器 内 科 (新患予約制)	甲 木 雅 人	戸 伏 倫 之 甲 木 雅 人	戸 伏 倫 之 甲 木 雅 人	病 棟 回 診 日	甲 木 雅 人
			午後 心血管カテーテル 検査・治療日		午後 心血管カテーテル 検査・治療日	
	消 化 器 内 科 (新患予約制)		藤 岡 審	藤 岡 審	病 棟 回 診 日	藤 岡 審
外科	一 般 管 門	三 森 功 士 米 村 祐 輔	三 森 功 士	三 森 功 士	三 森 功 士	三 森 功 士
	肝 ・ 胆 ・ 膵	米 村 祐 輔	手 術 日	米 村 祐 輔	手 術 日	手 術 日
	乳 腺	三 森 功 士 安 東 由 貴		三 森 功 士 安 東 由 貴		三 森 功 士 安 東 由 貴
整形外科	整 形 外 科 (完全予約制)	手 術 日	熊 丸 浩 仁 貴 島 崎 真 賢 吉 東 良 吾 伊 濱 大 広 中 川 雄 輝 介	手 術 日	播 谷 勝 三 貴 島 崎 真 賢 吉 東 良 吾 伊 濱 大 広 中 川 雄 輝 介	播 谷 勝 三 熊 丸 浩 仁 濱 大 雄 輝 中 川 雄 介
婦 人 科	婦 人 科 腫 瘍 (完全予約制)	手 術 日	園 田 頭 三 島 田 直 未	園 田 頭 三 中 村 恭 子	手 術 日	園 田 頭 三 瓜 生 泰 恵
	女 性 ヘ ル ス ケ ア (完全予約制)		瓜 生 泰 恵	島 田 直 未		中 村 恭 子
放 射 線 科	放 射 線 画 像 診 断	平 川 雅 和	甲 斐 聖 広	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和
	放 射 線 治 療	本 村 有 史	本 村 有 史		本 村 有 史	
共 通	上部消化器内視鏡	米 村 / 津 田	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 聖 広	米村/津田/藤岡
	下部消化器内視鏡	米 村 / 甲 斐	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	米村/甲斐/藤岡
	E M R / E S D	甲 斐 聖 広	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡
	E R C P	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔
	セカンドオピニオン			要 予 約		

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間

初診

8:30~11:00

再来

8:30~12:00 (予約の方は除く)

※但し土日、祝日は休診(急患は除く)

代表電話0977-27-1600

地域医療連携室へ
お電話ください

●整形外科・婦人科… 完全予約制

●内科：リウマチ感染症内科・腫瘍内科・循環器内科・
消化器内科… 新患予約制

●放射線治療… 初診 8:30~11:00

問合せ先
ご案内

地域医療連携室より

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- 検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
- 結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- 乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する
緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- 放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が
少なくなるよう配慮させていただきます。

◆その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

☎ 0120-272-518(専用) 月~金 8:30~17:00

TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.33



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>